



# 大 銀 杏

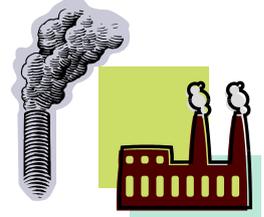
喜多市立慶徳小学校 学校だより  
令和元年10月8日(火) 第11号  
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】心豊かで、主体性のある児童の育成 ～育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子～

## 見方を変えると 見え方が変わる

ある街に「おばけえんとつ」があるということで、子どもたちの間でちょっとした騒ぎになったそうです。

あるところではえんとつが1本に見え、別の所では2本に見えるとのこと。もちろん、これは2本のえんとつの重なり具合で見え方がちがったわけですが、物を見るとき、見る場所(視点)が変わると見え方も変わることでしょうか。



先日、来年度入学予定者の就学時健康診断を実施しました。健診と同時並行で行った家庭教育学級の中で、「わが子について困っていること」を付箋紙に書いていただき、そのあと、困っていることとして書いたことをよい意味で解釈すると、どのように言えるかを考え合いました。いわゆる、「リフレーミング」というものです。

ともすると、一面的な見方で子どもをとらえ、欠点や不足の指摘に終始してしまいがちです。見方を変えてみると、見え方が変わり、子どもへのかかわり方も変わっていくように思います。短所だと思っていることも見方を変えると長所にもなっていきます。

「なんて落ち着きのない子だ。」と見るか、「とても活動的な子だ。」と見るかで、その後の言葉かけやかかわり方が違ってくるのではないのでしょうか。

## 出前授業～「数のマジック」～



去る10月1日に、5・6年生を対象に、東京理科大学大学院講師の桜井進先生をお招きして特別授業が行われました。先生は、テレビや新聞、雑誌などにも多数出演されており、今回は「わくわく数の世界大冒険『数学はマジックだ!』』というテーマで、ビデオ映像などを活用しながら授業を行っていただきました。桜井先生の軽快なトークと大変分かりやすい説明で、いつの間にか

数学のマジックに魅了されていました。

今回の授業を通して、子どもたちは、数学に夢中になることは、スポーツや音楽に夢中になることと同じであること、また身近なところに数学はあり、私たちの生活は数学に支えられていることなどを実感したようです。



## 茶道教室を「長床」で!!

3日(木)には、慶徳地区が誇る新宮熊野神社「長床」において、茶道教室を行いました。これ以上ない雰囲気の中、宗偏流 齋藤宗千先生を講師に、社中の皆様方のご協力のもと、茶道教室を行うことができました。3年生から6年生までの参加で、子どもたちは、緊張しながらも日本の伝統文化である茶道について理解を深め、作法について学ぶことができました。実施にあたり、「長床」の利用をご快諾いただきました保存会の皆様、ご支援をいただきました新宮区長様、齋藤邦雄様に心より御礼申し上げます。



◆◆ 10/12(土) 授業参観・鑑賞教室。午後は、鼓笛パレードがあります。 ◆◆